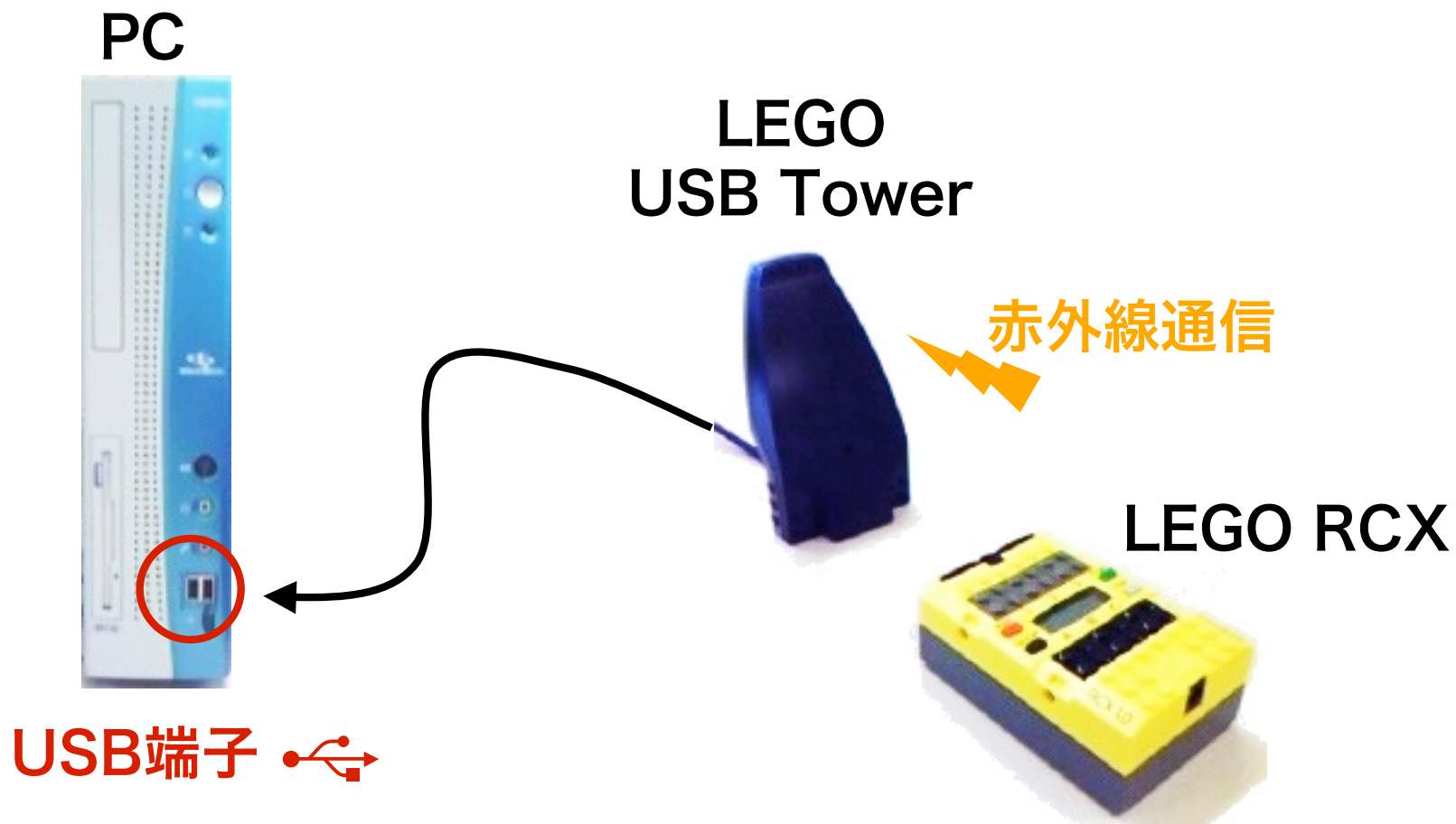


情報システム工学実験 第2



2007.11.1

機器の接続



プログラムから見た使い方

自作の
プログラム



`/dev/usb/legousbtower0`

LEGO RCX



プログラムから見た使い方



RCXとの通信手順

自作の
プログラム

(1)
要求パケット
を送信

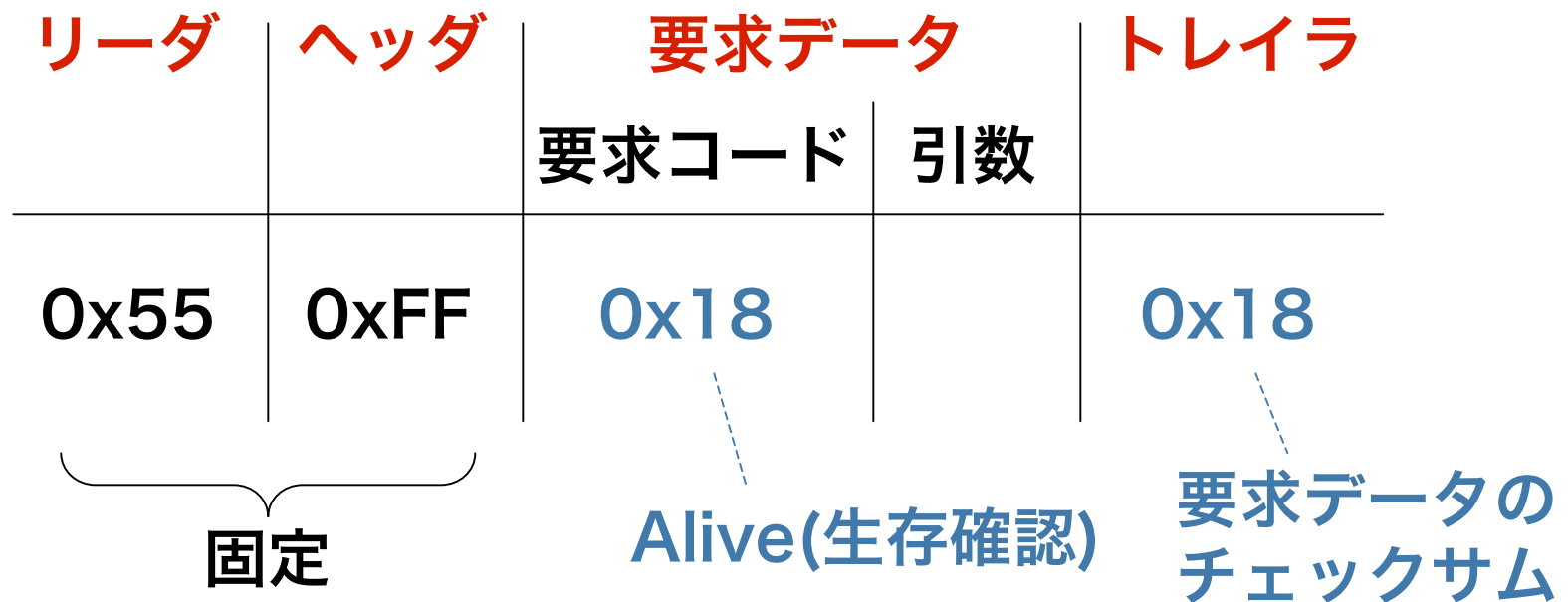


(2)
応答パケット
を受信

LEGO RCX



要求パッケージ (応答パッケージも同様)



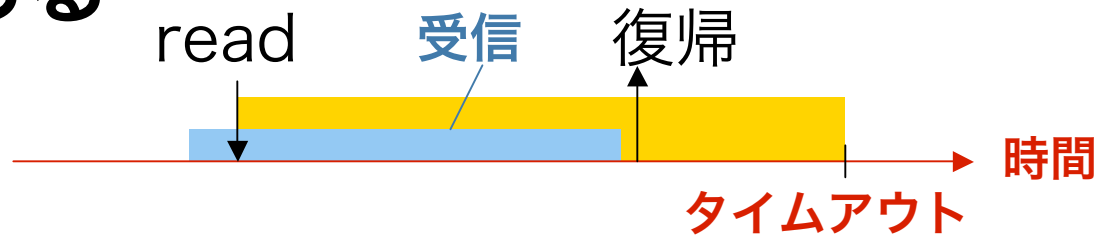
□ 符号化してからwriteする

- ヘッダ以降の各バイトを2バイトに

0x55 0xFF 0x00 0x18 0xE7 0x18 0xE7

read実行時の注意

- ioctlシステムコールを使って、タイムアウトまでの時間を長め（1秒）に設定しておく必要がある



- 授業用ウェブページを参照（p.29の nanosleepに関する説明を差し替え）
- 第3引数が応答パケット長より大きいと、タイムアウトエラーで1バイトも受け取れない